

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 一年次に習得した基礎技術の復習と、新しい技法のバリエーションを習得していく。また販売を前提とした量産における分業制作の工程をと技術を習得する。
担当教員	紀井、安井			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	416時間	単位数	13単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			靴の基礎技術を定着させ、企業就職に必要な最低限の技術を身につける。また、紳士靴における複数の底付け製法の習得、婦人靴における複数のパターン技法の習得を目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、安井(シューズ企画デザイン)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習Ⅱ-1(モンクストラップシューズ制作)			
	内容	モンクストラップシューズパターンを学ぶ グッドイヤーウェルテッド製法を学ぶ		
	メイキング基礎実習Ⅱ-2(ブーツ制作)			
	内容	フィット、ルーズタイプのブーツパターンの習得、ファスナーの取り付けを学ぶ クリッピング技術習得、スタックドヒール制作		
	メイキング基礎実習Ⅱ-3(靴制作分業実習)			
	内容	デザイナーとしての各工程に対する責任を負い、的確な指示を行う 習得した技術を用いて指定された仕様の靴を制作する		
メイキング基礎実習Ⅱ-4(量産体験実習)				
内容	販売を前提とした靴制作、コストと生産効率を考え制作する 時間内にクオリティを高く生産する			
履修上の注意事項	技術向上・技術定着の為、目標を定め、反復的な実習トレーニングを行う事が大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	メーキング造形実習 II			授業のねらい 靴制作の技術だけでなく、靴の基礎となく木型についての知識と木型制作におけるノウハウを知る。木型の形状とデザインの関係性、また木型の形状と足の関係性についても学習する。
担当教員	紀井、土屋、安井			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	328時間	単位数	10単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			各自の思い描くデザインに対する適切な木型の形状を選択・制作できる感覚を養うことを目標とする。また、足の計測方法を学び、足に合った木型の制作・修正を行うことを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝土屋(靴職人)、紀井(シューズ企画開発)、安井(シューズ企画デザイン)			
授業の計画展開	メーキング造形実習 II-1(イメージからの木型制作)			
	内容 デザインと木型と靴の関係を学ぶ、型に合ったデザインを知る			
	メーキング造形実習 II-2(足の計測から木型制作)			
	内容 足を計測し木型を制作する 足と靴のフィッティングについて学ぶ			
履修上の注意事項	計測などのリサーチ内容をどのように木型や靴の形状へと展開するのかをよく考察することが大事である			
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習 II			授業のねらい ブランド企画からマーケットリサーチ、トレンドリサーチなど、業界におけるシューズインハウスデザイナー／プランナーに必要なリサーチ業務、デザイン展開を学ぶ。
担当教員	永尾、日置			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	208時間	単位数	6単位	到達目標 ブランド立案からデザイン画によるコレクション作成まで、インハウスデザイナーとしてのスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有=日置(シューズデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 II-1(デザイン仕様書作成) 内容 外部生産に向けた仕様書作成を学ぶ デザイン基礎実習 II-2(マーケティング演習) 内容 マーケティング戦略リサーチを学ぶ デザイン基礎実習 II-3(ブランディング演習) 内容 ブランディングと商品プロモーションを学ぶ デザイン基礎実 II-4(デザイン史、トレンドからの演習) 内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成			
履修上の注意事項	ブランドやマーケットのリサーチにおいて、日常的に世の中で売られている商品群をよく観察する事が大事である			
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	デザイン造形実習 II			授業のねらい 二年次に学ぶデザイン企画の知識と培ってきた描写技術を用いて、企業間におけるデザイン開発を体験し、企業に対する新規デザインの提案を行う。
担当教員	永尾			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 連携企業の理念やブランドコンセプトに沿ったデザイン展開を行い、商品企画力を身につけることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	デザイン造形実習 II-1(商品開発体験実習) 内容 靴メーカーとの連携授業			
履修上の注意事項	企業からの企業理念とブランドコンセプト、現状の商品をよくリサーチすることが大事である			
評価方法	各実習における実制作したデザイン画・仕様書のクオリティによる評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シューメーカーコース

科目名	コンピューター実習 II		授業のねらい Rhinocerosソフトを使用し、基本的な3DCADソフトの操作方法を知る。	
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 各自がデザインした婦人靴用ヒール制作の為にデータを完成させられることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	コンピューター実習 II-1 (RhinocerosによるCADソフト実習) 内容 Rhinocerosの基本操作／立体作成チュートリアル／造形の為の留意点説明 オリジナルデザインヒール制作			
履修上の注意事項	造形可能な形状であること(各部位の寸法、パーツ同士のクリアランス、閉じた形状)			
評価方法	デザイン、機能、CADソフト操作能力を総合的に評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			